

2024年3月期 決算補足説明資料



2024年5月14日

株式会社エーアイ

証券コード：4388

声を便利に、声を楽しく。

Qi エーアイ

目次

1. 企業概要
2. 2024年3月期 決算概要・配当方針
3. ESGへの取り組み
4. 株式会社フュートレック吸収合併契約について
5. 2025年3月期 事業方針

1

企業概要



【会社概要】

会社名	株式会社エーアイ（英文社名：AI, Inc.）
代表者	代表取締役社長 廣飯 伸一
設立	2003年4月1日
本社	東京都文京区西片一丁目15番15号 KDX春日ビル10階
資本金	100,000,000円（資本準備金 121,280,000円）
市場	東京証券取引所グロース（証券コード：4388）
主要株主	廣飯 伸一、吉田 大介、合同会社 吉田事務所
決算期	3月
従業員数	正社員：56名 パート及び嘱託社員：9名
事業内容	音声合成エンジン及び関連するソリューションの提供

（2024年3月末日現在）



【企業理念・行動指針】

企業理念

エーアイは音声技術で社会に新しい価値をつくり続けます

MISSION

声がつくれる“便利さ”と声をつくる“楽しさ”を

VISION

音声技術で社会の役に立つサービスをつくり続ける

VALUE

音声技術のトップランナーで居続ける

- 人が幸せになる技術・サービスを提供する
- お客様と社員と共に未来をつくっていく
- 日々、一步一步丁寧に歩いていく

行動指針

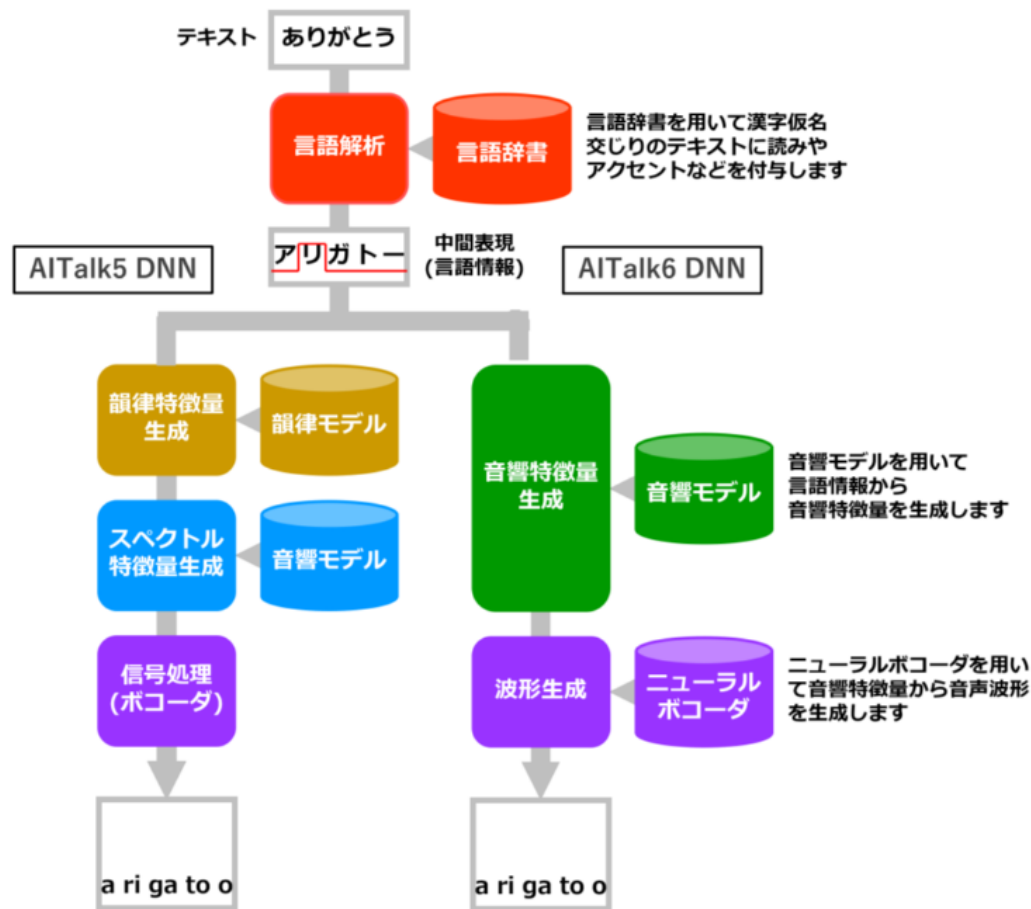
- 新しい技術、新しいスキルを、常に身につけていく人に。
- お客様も社員も自分も。仲間と一緒に自分を育てていく思いやりのある人に。
- 着実に行動して成長していく向上心のある人に。

【AITalk®とは】

従来の「コーパスベース音声合成方式」と、最新の深層学習技術を活用した「DNN音声合成方式」を、利用シーンに合わせて選択することで、さらなる人間らしさ・豊かな音声を追求した高品質音声合成エンジンです。

2023年10月12日に進化した新世代DNN音声合成エンジン「AITalk®6」を発表しました。

信号処理による音声生成法（ボコーダ）をニューラルネットワークによる音声生成法（ニューラルボコーダ）に変更する事により、さらなる人間らしさ・豊かな音声を追求した高品質音声合成エンジンです。



【選ばれる理由】

人間的でなめらか・人に近い自然な音声

AITalk®は、従来の機械的な合成音ではなく、人間の声に近い自然な音声合成です。

総勢100名以上の話者・言語の種類は40種類以上の豊富な音声ラインナップ

音声の差替えや追加の度に発生していた収録の手間やコストの事を気にせず、必要な時に必要なだけ音声の差替えや追加ができます。

誰の声でも短時間の収録で音声合成用データに変換

芸能人や声優、自分の声を収録し、音声合成用のオリジナル辞書を作成することができます。
文字を入力するだけで、本人の声のようなリアルな音声で喋らせることができ、
WEBキャンペーンやスマートフォンアプリ、ゲーム等の様々なコンテンツでの展開が可能です。

【ビジネスモデル】

区分	製品・サービス
<p>法人向け製品 (当期実績：売上の45.9%) (前期実績：売上の44.2%)</p>	<ul style="list-style-type: none">• AITalk® 声の職人®• AITalk® 声プラス®• AITalk International®• AITalk® SDK• AITalk® Server• AITalk® micro• AITalk® Custom Voice®• 音声ファイル作成サービス
<p>法人向けサービス (当期実績：売上の30.8%) (前期実績：売上の30.0%)</p>	<ul style="list-style-type: none">• AITalk® 声の職人® クラウド版• AITalk® WebAPI• AITalk® Web読み職人®• A.I.VOICE Biz®• AIPal® Chat• AITalk® 製品に関するサポート業務• コエステーション®
<p>コンシューマー向け製品 (当期実績：売上の23.3%) (前期実績：売上の25.8%)</p>	<ul style="list-style-type: none">• かんたん！AITalk®• かんたん！アフレコ®• AITalk® あなたの声®• A.I.VOICE® シリーズ 琴葉茜®・葵®（日本語、英語、中国語）• A.I.VOICE® シリーズ 各キャラクター製品• A.I.VOICE® for Gamess（Unity向けエディタ拡張）• VOICEROID®シリーズ

【利用されている用途（AITalk[®]）】



音声対話



防災行政無線・全国瞬時警報システム（J-ALERT）



道路交通情報



ナビゲーション・PND



スマートフォンアプリケーション



オーディオブック



電話自動応答システム



ロボット



WEBキャンペーン・WEBサービス



観光案内・館内・車内各種放送



e-learning・教材・マニュアル作成
Copyright AI, Inc. All Rights Reserved.



機器への組込み



パッケージソフトへの組込み



ゲーム



メディア

【利用されている用途（A.I.VOICE®）】

キャラクター利用＋動画ナレーション作成

個人利用



解説動画

TRPGリプレイ動画

歌ボ動画
(歌うVOICEROID)

料理・ゲーム・
旅行の実況動画

キャラの掛け合い
劇場動画



法人利用



地方創生・観光誘致
(町おこし)



デジタルコンテンツ
(スマホアプリ・ゲーム)



セールスプロモーション



キャラクター商品化

【導入・販売実績】

導入実績数



2300社

防災行政無線での
導入自治体数



880市区町村

オリジナル音声辞書
作成実績数



410名

法人向けパッケージソフト
累積販売数



2000ライセンス

コンシューマー向け
パッケージソフト累積販売数



14万ライセンス以上

2024年3月期 決算概要・配当方針



【エグゼクティブサマリー】

売上高

営業利益

743百万円 (前年同期比+15.9%、期初計画比+12.9%) **81百万円** (前年同期比+310.3%、期初計画比+268.1%)

利益率の高い法人向け製品・法人向けサービスの売上が増加、売上及び営業利益に貢献

拡大中のオーディオブック向け音声コンテンツの受託案件による売上増加

コエステ株式会社吸収合併によるシナジー効果により、クラウドサービス分野・コンテンツ制作受託分野が強化

より高品質、自然で豊かな表現が可能となった新エンジンAITalk®6をリリース

AITalk®6を用いたA.I.VOICE® 2の新規リリースが売上に寄与

事業拡大に向けた新規取組

株式会社フュートレックの株式取得により、音声認識事業とのシナジーを生む新サービスの開発

生成AIを用いた法人向けチャットアシスタントサービスのリリースと拡販に向けた取り組み

Cerence社との協業、外国語製品の販売強化

【業績ハイライト】

前期比、期初計画比に対して売上・利益共に増加。特に利益率が大幅に上回った。

	2023年3月期		2024年3月期	前期比	期初計画比
売上高	633百万円	▶	734百万円	+16%	+13%
営業利益	19百万円	▶	81百万円	+310%	+268%
経常利益	22百万円	▶	81百万円	+266%	+326%
当期純利益	16百万円	▶	109百万円	+570%	+738%

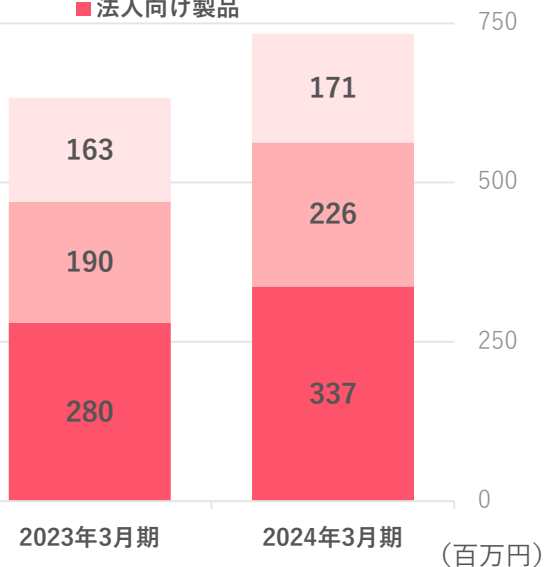
【分類別売上】

法人向け製品 防災分野及びロイヤリティ収入が堅調に推移。大型音声コンテンツ受託案件が売上増加に大きく寄与した。

法人向けサービス コエステ株式会社の吸収合併によるシナジー効果によりクラウドサービス分野が強化され、売上増加。

コンシューマー向け製品 AITalk®6を用いたA.I.VOICE® 2の新規リリースにより売上増加。

■ コンシューマー向け製品
■ 法人向けサービス
■ 法人向け製品



	2024年3月期		2024年3月期		前期比
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
法人向け製品	280百万円	44.2%	337百万円	45.9%	+20.2%
法人向けサービス	190百万円	30.0%	226百万円	30.8%	+19.0%
コンシューマー向け製品	163百万円	25.8%	171百万円	23.3%	+5.1%
合計	633百万円		734百万円		

【損益計算書の概要】

売上高の増加率に対し、売上原価の増加率がより高くなったことで、売上総利益の増加率はやや圧縮されたものの、前年比8%増加で着地した。

また販管費の圧縮、売上高の中でも利益率の高い法人向け製品・法人向けサービスが増加したことを受け、営業利益・経常利益・当期純利益は前年比を大幅に上回った。

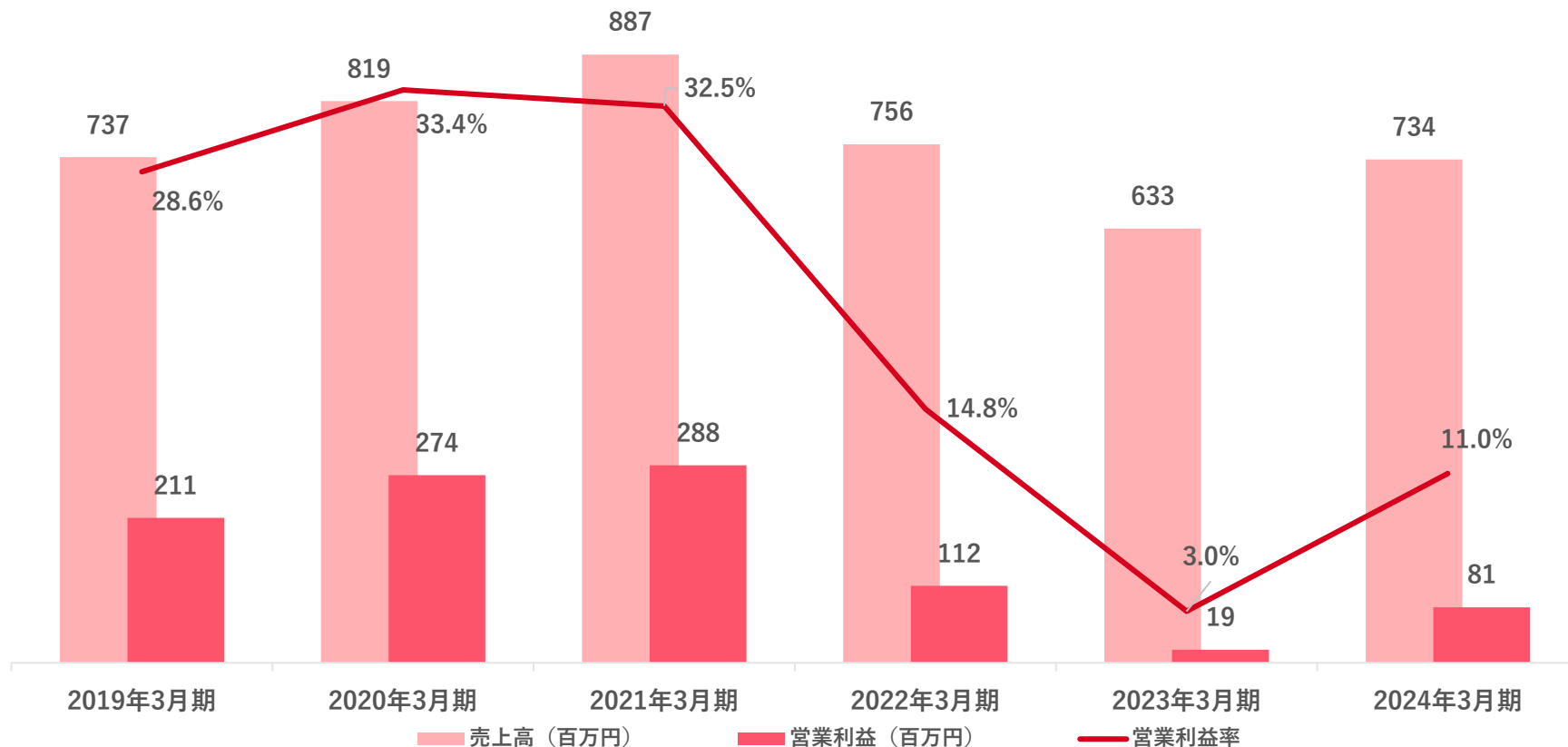
(百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比	増減率
売上高	633	100.0%	734	100.0%	+16.0%
売上原価	158	25.0%	221	30.1%	+39.9%
売上総利益	475	75.0%	513	69.9%	+8.0%
販売管理費	455	71.9%	432	58.9%	△5.1%
営業利益	19	3.0%	81	11.0%	+326.3%
経常利益	22	3.5%	81	11.0%	+268.2%
当期純利益	16	2.5%	109	14.9%	+581.3%

【売上高と営業利益の推移】

2023年3月期に大幅な落ち込みを見せた営業利益率は、当期で回復を見た。

一方、同程度の売上高であった2019年3月期との比較において、その割合は低下しているが、人員の増加（正社員36名→56名）によるところである。



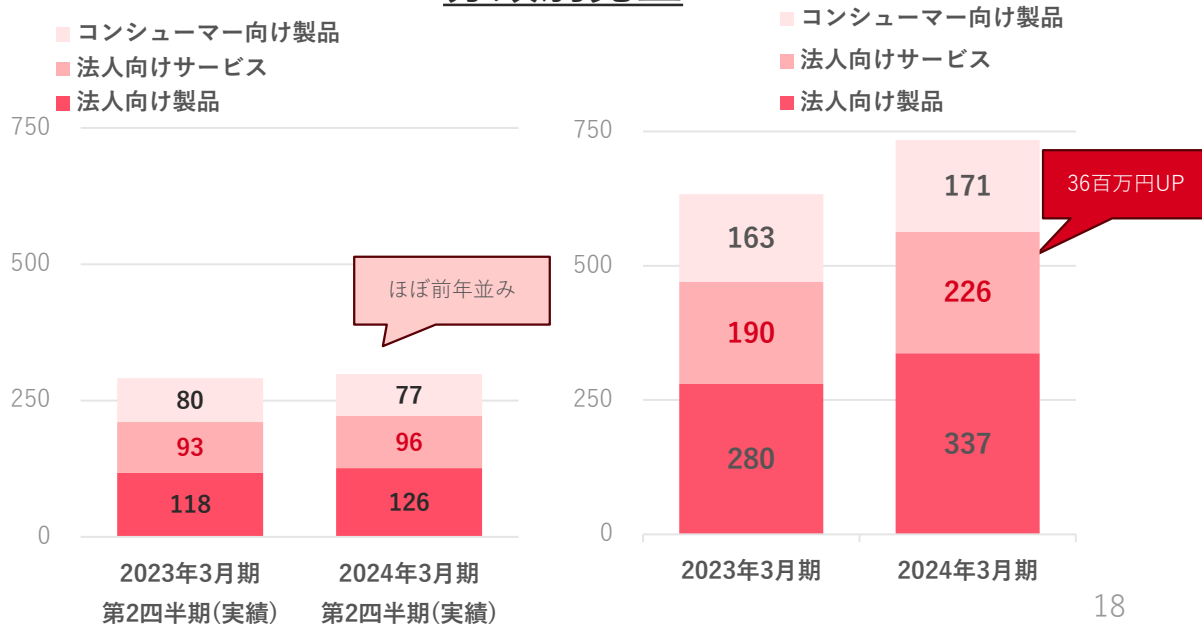
【コエステ株式会社吸収合併によるシナジー効果】

- ・第2四半期時点では法人向けサービスの売上は前年並みの水準だが、通期では36百万円の増加となった。
- ・コエステ社の前期営業利益5百万に対し、吸収合併後、通期で当社の営業利益は前期比で62百万円の増加となった。双方の技術力・ノウハウが合流し、製品性能をより向上させた状態で顧客へ提案ができるようになり、短期間での組織融合、収益の向上に成功した。
- ・特にコエステ社の大型営業案件に対してエーアイの最新エンジンをコエステーションに搭載した社内開発を行うことで案件獲得に結び付き、大きなシナジー効果を発揮することができた。

コエステ株式会社直近3か年経営成績

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	41百万円	95百万円	92百万円
営業利益	△109百万円	△54百万円	5百万円
経常利益	△108百万円	△54百万円	5百万円
当期純利益	△289百万円	△54百万円	5百万円
純資産	209百万円	155百万円	160百万円
総資産	244百万円	182百万円	177百万円

分類別売上



【貸借対照表の概要】

資産合計

主に現金及び預金が661百万円減少し、流動資産が657百万円減少。関係会社株式926百万円増加により固定資産が971百万円増加し、資産合計は317百万円増加となった。

負債合計

主に契約負債54百万円、未払金32百万円、1年内償還予定社債30百万円増加し、流動負債は102百万円増加。一方、短期借入金は40百万円減少。また、社債の105百万円増加により、固定負債は104百万円増加。負債合計は、207百万円増加となった。

純資産合計

主に利益剰余金が109百万円増加により、純資産合計は109百万円増加となった。

	2023年 3月期	2024年 3月期	前期比
自己資本比率	85.5%	76.1%	△9.4%
自己資本当期純利益率	1.3%	8.8%	+7.5%
総資産経常利益率	1.6%	5.3%	+3.7%

	2023年3月期	2024年3月期	前期比		2023年3月期	2024年3月期	前期比
流動資産	1,359百万	701百万	△657百万	流動負債	201百万	303百万	+102百万
固定資産	34百万	1,005百万	+971百万	固定負債	1百万	105百万	+104百万
有形固定資産	13百万	10百万	△3百万	負債合計	202百万	409百万	+207百万
無形固定資産	8百万	43百万	+35百万	純資産	1,191百万	1,300百万	+109百万
投資その他の資産	12百万	950百万	+938百万				
資産合計	1,393百万	1,710百万	+317百万	負債・純資産合計	1,393百万	1,710百万	+317百万

【配当方針】

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

2024年3月期につきましては、前期から業績の改善が見られましたが、株式会社フュートレックとの経営統合を控え、今後の内部留保のバランスと資金需要等を総合的に勘案し、無配とさせていただきました。

3

ESGへの取り組み



【ESGへの取り組み】

S: 社会	①女性活躍の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・社員56名中、女性が27名（48.2%） ・管理職14名中、女性が5名（35.7%）
	②子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業制度の活用 4名
	③働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・フレックスタイム制度の導入 ・残業の少ない職場環境 月平均残業時間：7.47時間（前期平均）（参考：前々期5.63時間） ・休暇を取りやすい職場環境 平均有給消化率：92.5%（前期実績）（参考：前々期87.6%） ・在宅勤務制度：全社員の87.7%（前期実績）（参考：前々期92.4%）
	④社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の企業訪問 22校（126名）
	⑤SDGs推進私募債発行	<ul style="list-style-type: none"> ・手数料の一部がSDGs関連団体に寄付される私募債を発行
G: ガバナンス	①株主・投資家との対話	<ul style="list-style-type: none"> ・機関投資家向け説明会の開催 2回 ・機関投資家との1on1ミーティング 10回

【株式会社フュートレック吸収合併契約について】

2019年4月 業務提携契約書を締結

音声合成技術及び音声認識技術を活用した音声対話システムや双方のソリューションを活用した製品化の検討を推進

2023年5月 資本業務提携契約書を締結

2023年6月 公開買付けによりフュートレック株式を取得

フュートレック株式を議決権比率で40.53%を所有(2024/5/15現在も同様)

2024年7月 資本業務提携委員会の発足

2024年1月 経営統合に関する基本合意書を締結し、経営統合委員会が発足

2024年5月 当社を吸収合併存続会社とする吸収合併に係る吸収合併契約書を締結

2024年10月1日 株式会社フュートレックとの吸収合併効力発生日（予定）

【株式会社フュートレック吸収合併契約について】

株式会社エーアイ

音声事業

音声合成

音声合成エンジン及び音声合成に関連するソリューションの提供

QiTalk  coestation

音声認識

音声認識技術及び音声認識関連技術の開発及び販売、多言語音声翻訳技術の開発及び音声翻訳事業の開発、運営

 VGate

共同研究・共同開発

音声合成技術・音声認識技術を活用した新製品
「組み込み型音声対話フレームワーク SLFrameWork(仮)」を企画

CRM事業

デジタルマーケティング領域
CRM（顧客管理システム）の開発
及び販売
・統合型CRMマーケティングソリューション Visionary

 Visionary

株式会社ATR-Trek

音声認識のコア技術開発会社

 ATR-TREK

株式会社スーパーワン

教育Webアプリのシステム開発会社

 SUPER ONE

メディアジャパン
株式会社

オーダーメイドの映像制作会社

 メディアジャパン

【株式会社フュートレック吸収合併契約について】

統合目的①音声関連技術の事業展開の拡大と研究開発の強化

エーアイの「音声合成」とフュートレックの「音声認識」は併用活用の事例が多く、本経営統合によりリソースの柔軟性や研究開発環境の共有がシームレスで可能となり、また組織の融合により、事業展開や製品開発のスピードアップを実現し、更なる事業成長を図ることが可能。

統合目的②事業の多角化

「音声合成」の単一セグメントから、音声認識事業、デジタルマーケティング事業と複数の事業に経営資源を分散し事業運営を行うことにより、会社収益を平準化させ経営の安定化が可能。

統合目的③経営基盤の確立・管理機能のスリム化

企業規模が拡大し、信用力向上につながることで財務基盤が強化され、今後の持続的な成長を実現するためのM&Aや新規投資に対応可能となる。また、管理部門の人材が強化されるとともに、重複機能を解消することで、今後の事業成長に対応可能な組織体制を構築しつつ、管理コストの削減を図ることが可能。

【株式会社フュートレック吸収合併契約について】

本吸収合併において、2023年9月に実施されたコエステ株式会社の吸収合併のノウハウを活用。

成功理由①

効率的な組織設計とスピーディな意思決定、業務推進

成功理由②

両社技術の融合による製品品質の向上

成功理由③

管理コストの大幅な削減

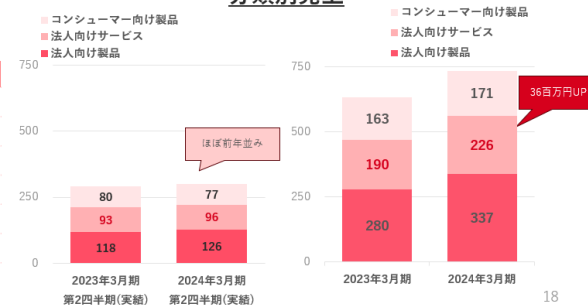
【コエステ株式会社吸収合併によるシナジー効果】

- ・第2四半期時点では法人向けサービスの売上は前年並みの水準だが、通期では36百万円の増加となった。
- ・コエステ社の前期営業利益5百万円に対し、吸収合併後、通期で62百万円の増加となった。双方の技術力・ノウハウが合流し、製品性能をより向上させた状態で顧客へ提案ができるようになり、短期間での組織融合、収益の向上に成功した。
- ・特にコエステ社の大型営業案件に対してエアアイの最新エンジンをコエステーションに搭載した社内開発を行うことで案件獲得に結び付き、大きなシナジー効果を発揮することができた。

コエステ株式会社直近3か年経営成績

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	41百万円	95百万円	92百万円
営業利益	△109百万円	△54百万円	5百万円
経常利益	△108百万円	△54百万円	5百万円
当期純利益	△289百万円	△54百万円	5百万円
純資産	209百万円	155百万円	160百万円
総資産	244百万円	182百万円	177百万円

分類別売上



Copyright AI, Inc. All Rights Reserved.

→フュートレックの事業の早期黒字化と中長期的な利益率の向上を図ることが可能

5

2025年3月期 事業方針



【マーケットの推移】

第1フェーズ (2003年～)	第2フェーズ (2011年～)	第3フェーズ (2015年頃～)	コロナ禍 (2020年～)	アフターコロナ・今後 (2023年～)
				新しいマーケットを開拓
				オーディオブック
				生成系AIとの連携
		インバウンド (多言語)		インバウンド (多言語)
			動画配信プラットフォーム	
		ナレーション作成	Eラーニング教材・動画での活用	
	車載分野			
	双方向の音声対話 (スマートフォン・ロボット)			
	コンシューマー		コンシューマー (動画作成)	
	防災分野			
電話の自動応答				

【2025年3月期における環境認識】

機会

- ✓オーディオブックをはじめとした新規マーケットの開拓可能性
- ✓「緊急防災・減災事業債」の活用による防災分野の需要の増加
- ✓インバウンド需要の高まりを背景に、多言語機能を搭載した製品の需要がさらに増加
- ✓生成系AIの躍進を受け、音声技術との連携の可能性
- ✓フュートレックとの統合による音声認識技術との技術連携

課題

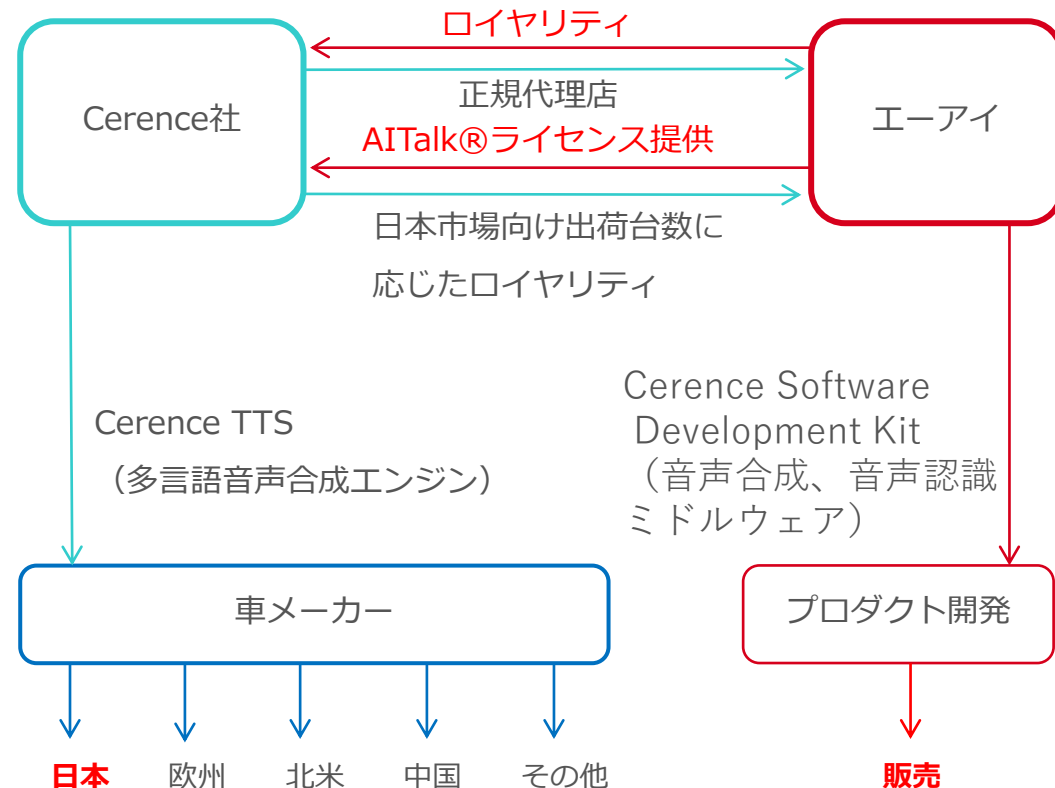
- ✓音声合成の利用拡大に伴う、音声合成分野全体の開発スピードの加速化
- ✓物価高を受けたパッケージコンテンツやグッズの原価増加

【2025年3月期の主な取り組み】

①Cerence社との協業

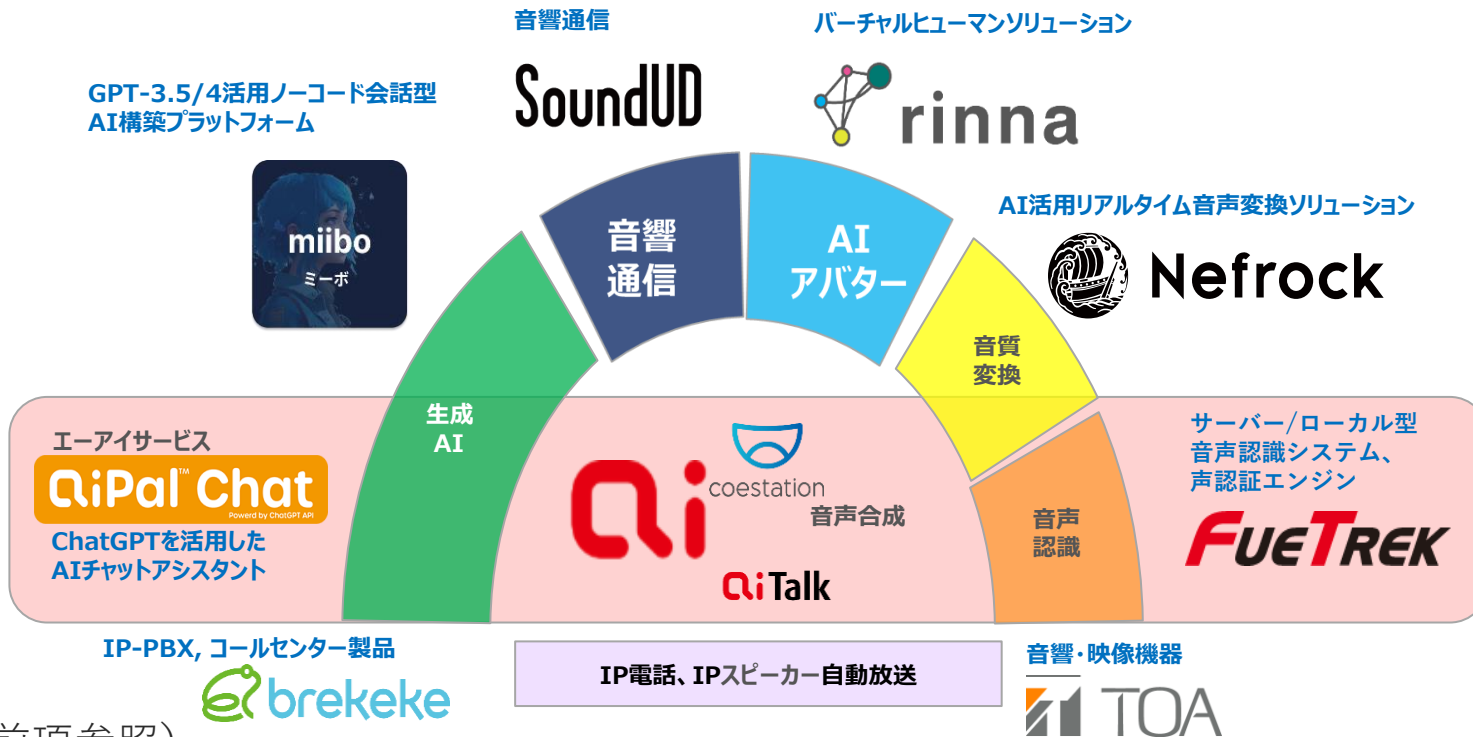
- ・2019年11月12日公表
Cerence社とのライセンス契約を締結。
- ・2020年6月22日公表
「AITalk®」が組み込まれた「Cerence TTS」をCerence社より提供開始。「Cerence TTS」の販売協力を加速。
- ・2023年4月13日公表
Cerence社との代理店契約締結及びプロダクト開発着手。40言語以上の外国語に対応したCerence社製「CSDK」を組み込んだプロダクトを開発中で、多言語対応製品を拡充予定。
- ・**2024年1月10日公表**
「Cerence TTS」を搭載した新製品
「AITalk®6 SDK」を提供開始

新ビジネススキーム



【2025年3月期の主な取り組み】

②音声技術に関するトータルサービスの提供



- ・ Cerence社（前項参照）
- ・ iFLYTEK社（協業契約締結）、Acapela社（協業契約締結）

【2025年3月期の主な取り組み】

③自社IPの多角的展開

- ボイスソフト市場拡大
- 既存ファン満足度向上
- 新規IP獲得
- グッズ企画・グッズ販路拡大

Kotonoha
Akane & Aoi
10th
ANNIVERSARY



2024年4月27日 初公式ソロライブ「Kotono Harmony 2024」開催



【2025年3月期業績予想及び配当予想】

2025年3月期につきましては、株式会社フュートレックとの合併契約を締結したことを受け、本合併の影響を現時点で正確に算定することが困難であることから、2025年3月期業績予想及び配当予想は未定としております。

開示が可能となった時点で速やかに開示を行う予定です。

【事業計画及び成長可能性に関する事項について】

昨年に引き続き、6月下旬を目途にアップデートを行う予定でございます。

【将来見通しに関する注意事項】

本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと異なる場合があります。